

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL(0791)23-0800



HPのQRコード

46回生 自然科学コース 宿泊研修

7月29日(金)
第1日目

コロナの影響で昨年度は実施されなかった自然科学コースの宿泊研修。現在に至ってもコロナの収束には至っていませんが、マスク、手洗い等基本的な対策はもろろんのこと、一人一人が感染防止に十分心がけることで実施に至りました。



引率2名と生徒39名が、相生駅北側から大型バスに乗り込みます。集合時間の8時30分よりずいぶん早く集まってきた生徒も多く、2日間の研修に対する喜びや期待が感じられました。

最初の研修は放射光施設SPRING SACLAYについての説明と見学です。身近にありながらも、この世界的規模の研究施設を見るのは初めてだという生徒がほとんどで、新鮮な感動を



覚えていました。見学後、この施設の研究者による講義を受け、研究の魅力や喜び、苦労されたことなどを聴きました。今後の進路選択に向きな影響をいただくことができました。

その後テクノの芝生広場で昼食をとりました。炎天下ではありましたが、美しい緑の木陰と、その間を縫って吹く風がとても心地よかったです。

Spring8からすぐのところにある兵庫県立大学理学部の講義を2コマ、2時間受けました。演題：「プランリアア今昔ばなし」

「計算機の中でダイヤモンドを作ってみよう」
高校一年生には少々難しい内容ではありましたが、大学の



研究内容に触れることができ、理系志望の生徒として非常に刺激を受けました。

いよいよ牛窓港からフェリーで前島へ向かいます。

船を待つ間は日陰もなく、17時だというのに本当に暑かった。船に乗っているのはわずかり、8分みんな甲板にて海の景色を楽しみました。



牛窓研修センターカリヨンハウスに到着すると、すぐにバーベキューです。まず、宿舎の方から説明を受け、その後4班に分かれておいしくいただきました。



夕食後、天体観測と海ホテルの観察を行いました。

前島の夜空には姫路や相生では見ることができない無数の星が輝き、北斗七星やカシオペア座、さそり座など有名な星座がはっきりと観測されました。また、海ホテルという不思議な生物は青色の蛍光色

を放ち、神秘の世界を感じさせてくれました。

7月30日(土)
第2日目

2日目は朝から『いかだ体験』です。ただ乗るだけではなく、自分たちでいかだを組み立てます。

まず、組み立て方の説明を受けていますが、完成するのに約一時間から一時間半かかるということです。班員の団結力が試されます。

組み立て開始



垂木を並べて骨組みを作り、その上にベニヤ板を並べていきます。そして、裏側に発泡スチロールの大きな「浮き」をつけて完成します。

いよいよ海へ出ていきます。ライフジャケットを着て、説明を受けています。

この日、九州の西側を通過している台風の影響か、波が少し立って、強めの風が吹いていました。行きは向かい風、漕ぐのに



体力がいりそうです。さすが高校生の体力です。向かい風にも負けず、目的地まで全いかだ7隻が到達しました。真夏の青空がものすごく美しく、いつまでも海に浮いていたかった。しかしここでUターン、宿舎へ戻って昼食をとりました。

退所式。2日間お世話になった宿舎の方に副委員長がお礼の言葉を述べました。

楽しみにしていた宿泊研修は、多くの方々のご支援と、素晴らしい天候に恵まれ、あっという間に終わりました。

3年間のクラスメイトとなる39人がともに行動した2日間、この2日間に見たこと、聴いたこと、体験したことは、今後の高校生活を送る上でとても貴重なものとなるはずですよ。

理化学研究所と県大理学部で教わった、「何事にも好奇心を持ち、チャレンジ精神を忘れない」このことを常に心に刻んで、前に進んでいってほしいものです。